



鈴鹿サーキット 夏の2大EV競技

FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2015

2015 Ene-1GP SUZUKA

見どころ・エントリーリスト・イベント情報

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)で2015年7月31日(金)~8月1日(土)に開催する「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿 2015」、および8月2日(日)に開催する「2015 Ene-1 GP SUZUKA」の見どころ、エントリーリスト、イベント情報をご案内いたします。

「ソーラーカーレース鈴鹿」は1992年に初めて鈴鹿サーキットで開催され、今年で24回目を迎えます。F1などの自動車競技を統括するFIA(国際自動車連盟)公認の国際格式競技で、太陽光を電気エネルギーに換えてモーターの力で走行するソーラーカーを使い、耐久レースが行われます。今年は54台が参加を予定しており、うち22台が5時間耐久のクラス、32台が4時間耐久のクラスにエントリーしています。

2011年から始まり今年で5回目となる「Ene-1 GP SUZUKA」は、充電式単3電池40本(パナソニック製充電式エネルーブ)をエネルギー源とした車両を使用する競技です。3輪以上のオリジナル車両で鈴鹿サーキット国際レーシングコース・フルコース(5.807km)を走る「KV-40チャレンジ」には89台が、市販の自転車車をベースとした2輪車で東コース(2.223km)を走る「KV-BIKEチャレンジ」には20台がそれぞれエントリーしており、いずれも昨年を上回るエントリー台数です。

当日は手づくり乾電池教室や、電池で動くロボット作りを体験できるイベントも開催され、競技の参加者だけでなく、ファミリーでもお楽しみいただけます。鈴鹿サーキットで開催する夏のEV競技とイベントをぜひお楽しみください。



ソーラーカーレース イメージ



Ene-1 GP SUZUKA
KV-40チャレンジ イメージ



Ene-1 GP SUZUKA
KV-BIKEチャレンジ イメージ

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

ソーラーカーレース鈴鹿2015

50台を超えるエントリー

5時間耐久、4時間耐久とも競合2チームの争いに注目



ソーラーカーレース鈴鹿
 昨年の5時間耐久レーススタートシーン

ソーラーカーレース鈴鹿の5時間耐久クラスにおいて、過去の6大会では大阪産業大学と芦屋大学の2チームが総合優勝を分け合っており、今年も両大学による接戦が予想されます。

大阪産業大学のチームは2012年から3連覇しており、芦屋大学のチームが、ライバルの連勝にストップをかけられるかが見どころのひとつです。

また、4時間耐久クラスでは2010年から平塚工科高校が総合で5連覇中ですが、ここ数年はオリンパスの企業チームが総合2位(※)につけており、今年も社会人チームと高校生チームの総合優勝争いが期待されます。

※オリンパス企業チームのクラス別成績は優勝(ENJOY IIクラス)

開催概要

名称	FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2015
日程	2015年7月31日(金)公式車検・フリー走行 8月1日(土)決勝
種目	5時間耐久レース、4時間耐久レース
会場	鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(フルコース1周5.807km)
主催	株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット、一般社団法人 日本自動車連盟
後援	三重県、鈴鹿市、鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会、 一般社団法人鈴鹿市観光協会、鈴鹿商工会議所

開催クラス

5時間耐久レース	
FIAオリンピッククラス	2008年に新設された世界共通規定。ソーラーパネルの大きさが6m ² 以下という制限がある
ドリームクラス	キャリアのあるチームや高性能車両による上級者向けクラスで、ソーラーパネルは480wを超え、最大出力の制限はない
チャレンジクラス	ソーラーパネルの出力が480wを超え800w以下に制限された、中間に位置づけられるクラス
※FIAオリンピッククラス、チャレンジクラスはそれぞれ1位から3位まで表彰が行われ、最もパワーのあるドリームクラスは、クラス順位の認定がなく、総合順位のみが表彰対象	

4時間耐久レース	
エンジョイ I クラス	ソーラーパネルの出力が480w以下に制限され、18歳以下(高校・高等専門学校)で構成されたチームが参加可能。若い発想と創意工夫が見られ、様々なデザインの車両が参加する
エンジョイ II クラス	ソーラーパネルの出力が480w以下に制限され、Iクラス以外の大学、専門学校、一般のチームが参加できる。参戦を目指す人々に門戸を開くエントリーしやすい初級クラス

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
 鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

ソーラーカーレース鈴鹿2015

エントリーリスト

54台 7月15日現在

参加クラス	No.	チーム名	活動主体
FIAオリンピック	001	ENEMAX-KAI	その他のグループ
	002	SAT'S	企業
	004	芦屋大学ソーラーカープロジェクトMONO	学校
	005	レッド・ゾーン	その他のグループ
	006	呉港エコテック	学校
	007	名古屋工業大学ソーラーカー部	学校
	008	大阪工業大学 TEAM REGALIA	学校
	009	愛知工科大学ソーラーカー部	学校
	ドリーム	1	アステカ・レーシングチーム
2		静岡ソーラーカークラブ	その他のグループ
3		滋賀職大 SPD	学校
4		呉港高等学校	学校
5		サレジオ高専ソーラーカープロジェクト	学校
6		OSU 大阪産業大学	学校
7		KAIT ソーラーカープロジェクト	学校
8		JTEKT SOLAR CAR TEAM	企業
チャレンジ	21	TEAM SUNLAKE	その他のグループ
	22	紀北工業高等学校 ものづくり研究部	学校
	23	堺市立堺高等学校 科学部	学校
	24	柏会	その他のグループ
	25	TeamMAXSPEED	その他のグループ
	26	鈴鹿高専エコカープロジェクト	学校
エンジョイ I (高校・高等専門学校クラス)	51	大阪市立生野工業高等学校 機械工作部	学校
	52	神戸高専	学校
	53	平塚工科高校 社会部	学校
	54	布施工科高校省エネルギー自動車研究部	学校
	55	兵庫県立尼崎工業高等学校	学校
	56	松工ソーラーカーチーム	学校
	57	伊賀白鳳高校 未来Factory	学校
	58	Team宮工(宮崎工業高校)	学校
	59	石川県立羽咋工業高等学校 メカトロ部	学校
	60	今宮工科高校ソーラー研究部	学校
	61	起工高 R研	学校
	62	大阪府立堺工科高校ソーラーカー部	学校
	63	長野高専ソーラーカー研究部	学校
	64	千葉黎明高等学校 工学部	学校
エンジョイ II (上記以外)	101	Team OKINAWA	その他のグループ
	102	オリンパス RS	企業
	103	和歌山大学ソーラーカープロジェクト	学校
	104	山口大学ソーラーカープロジェクト	学校
	105	香川高専 次世代自動車研究部	学校
	106	NSPアステカ・レーシング	その他のグループ
	107	TERRA-SUNS	その他のグループ
	108	開成工業	企業
	109	中日本自動車短期大学	学校
	110	福岡工業大学 ソーラーカープロジェクト	学校
	111	STEP江東	その他のグループ
	112	立命館大学 EV-Racing + 篠塚	学校
	113	RitsV	その他のグループ
	114	JAGつくばソーラーカーチーム	その他のグループ
	115	北陸能開大ソーラーカーチーム	学校
	116	熊本大学ソーラーカープロジェクト	学校
	117	龍谷大学ソーラーカープロジェクト	学校
	118	ENA	企業

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

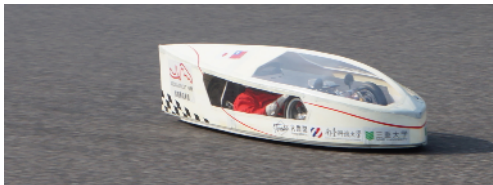
TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

2015 Ene-1 GP SUZUKA

KV-40、KV-BIKEチャレンジとも昨年を上回る台数がエントリー 高校生チームの連覇がかかるKV-40チャレンジ 国際合同チーム初参戦



今年の事前走行会でテストを重ねる
長野県飯田OIDE長姫高校の車両



初参戦となる三重大学と南台科技大学の
国際合同チーム「Mehicle」の車両

3輪以上のオリジナル車両が参加するKV-40チャレンジには、昨年初優勝した長野県飯田OIDE長姫高が、2連覇を目指して今年も参戦します。過去4回の大会ではそれぞれ異なるチームが総合優勝をしており、同チームは大会史上初の連覇に挑むこととなります。

また、KV-40チャレンジには三重大学と南台科技大学(台湾・高雄市)の国際合同チーム「Mehicle」が一般部門から初参戦します。国際合同チームがEne-1 GP SUZUKAに出場するのは初めてのことで、その成績に注目が集まります。

市販の自転車をベースにした2輪車で競われるKV-BIKEチャレンジには20台がエントリーしており、うち6チームが中学生のチームです。体重の軽さが有利に働く本競技では、昨年中学生チームが3位に入っており、今年も上位入賞が期待されます。

開催概要

名称	2015 Ene-1 GP SUZUKA
日程	2015年8月2日(日)決勝
種目	KV-40チャレンジ全国大会、KV-BIKEチャレンジ全国大会
会場	鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(KV-40 フルコース、KV-BIKE 東コース)
主催	株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
後援	文部科学省(予定)、経済産業省、観光庁(予定)、三重県、鈴鹿市、 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会、一般社団法人鈴鹿市観光協会、鈴鹿商工会議所

KV-40チャレンジ 主な規則、競技内容

	KV-1	KV-2
車両重量制限	なし	車両重量35kg以上
ドライバー重量制限	55kg以上(装備品を含む)	
グループカテゴリー	a. 一般部門 b. 大学、高専、専門学校部門	c. 高等学校部門 d. 中学生部門
競技内容	鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.807km) 1周×3回のタイムアタック	

装備品: ヘルメット、つなぎ服、グローブ、靴 のすべて

KV-BIKEチャレンジ 主な規則、競技内容

	クラス1	クラス2
車両重量制限	車両重量15kg以上	
ライダー重量制限	55kg以上(装備品を含む)	50kg以上(装備品を含む)
グループカテゴリー	a. 一般部 b. 大学、高専、専門学校部門	c. 高等学校部門 d. 中学生部門
競技内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ONE LAPタイムアタック 鈴鹿サーキット国際レーシングコース東コース(2.243km) 1周(タイムアタック) ・e-kiden1時間ロングディスタンス 鈴鹿サーキット国際レーシングコース東コース(2.243km) 1時間耐久 	

装備品: ヘルメット、つなぎ服、グローブ、靴、肘当て、膝当て のすべて

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

2015 Ene-1GP SUZUKA

エントリーリスト KV-40チャレンジ KV-1クラス

65台 7月15日現在

参加クラス	No.	チーム名	チームマネージャー	①ドライバー	②ドライバー	
KV-1 a 一般部門	2	TeamBIZON	田村 俊介	小堀 義明		
	3	大庄おもしろ広場	大原 一憲	川西 英稔		
	4	大庄おもしろ広場	大原 一憲	荒木 蒼海		
	5	チームテクノ	今村 孝一	神山 真一	竹内 源一郎	
	6	木本工作所	木本 寿美	木本 貴志		
	7	Ecotec-Ikuno	加納 弘一	倉成 駿介	多田 博紀	
	8	404ecorun/mk	藤川 貴史	川崎 真代		
	9	東郷アヒルエコパレーシング	仲岡 孝晃	坂田 隼志	石田 守良	
	11	team EVF	松川 文彦	大田 健太郎		
	12	集	前川 宏樹	岡田 雅代志	岡田 裕子	
	13	PROJECT MONO ◇ TTDC	山本 晴彦	山田 晃史	新井 英行	
	14	中日本自動車短期大学	高橋 正則	黒木 雄大		
	15	ちーむSBR	高橋 一久	大野 貴		
	16	チーム”ヨイシヨット!”ミツバ	高橋 道夫	蛭間 洋明	佐々木 善人	
	17	TEAM-BINBO	竹田 幹男	池谷 就一		
	18	MCJ70	湯澤 成彰	石川 有貴		
	19	鈴鹿高専 電気電子工学科	奥田 一雄	門脇 昌紀		
	20	Metamorphose	藤松 榮久	高木 一弥	辻元 拓馬	
	21	Miehcle	山本 優	笹岡 亮佑	山中 玄樹	
	KV-1 b 大学、高専、専門学校部門	22	長野県工科短大Z	早川 権	高木 一弥	
		23	鈴鹿高専エコカープロジェクト	方谷 義和	河合 晃毅	森川 智裕
24		NAGOYA KOUGAKUIN	辻野 繁太	才田 貴之	市村 直人	
25		大阪産業大学新エネルギーパークPJ	川北 泰三	浜口 貴守		
26		北陸能開大 Team-KV	石川 豊	江本 拓未	安居 翼	
27		とよこWork	後藤 啓稀	長田 真尚	鈴木 裕介	
28		HIT-EV	藤井 涼輔	大西 宏樹	松井 貴郁	
29		金沢工業高等専門学校	小間 徹也	石井 陸人	上木 優人	
30		滋賀職大	世古 美和	茶木 翔也	山井 琢矢	
31		法政大学機械研究会	厚沢 圭佑	大場 渉		
32		ホンダテクニカルカレッジ関東	吉田 孝行	関口 関口	田村 健一郎	
33		octエコラン部	奥田 貴之	小引 淳也		
34		ホンダテクニカルカレッジ関西 EV同好会	中村 忠能	宮崎 悟	山本 晋司	
KV-1 c 高等学校部門		1	長野県飯田OIDE長姫高校 原動機部	福澤 智之	中山 天斗	
	35	市立関商工高等学校 3	市橋 栄治	加藤 雅之		
	36	大阪府立茨木工科高等学校 機械研究部	山田 仁史	野口 雄介		
	37	Aichi豊田工高 生産技術部	田淵 英樹	角谷 優人		
	38	福岡市立博多工業高等学校Aチーム	森口 耕児	塩路 流石		
	39	福岡市立博多工業高等学校Bチーム	森口 耕児	首藤 稀星		
	40	team高工(宮崎工業高校)	山本 智弘	日高 敦拓	日高 敦拓	
	41	愛知工業高等学校化学工業科	水谷 裕	杉本 凌磨	鈴木 大芽	
	42	大阪市立生野工業高等学校 機械工作部	山口 幸司	金丸 凜	高橋 大樹	
	43	大阪市立東淀工業高等学校 技術研究部	石原 喜代志	今西 紘士	住田 大地	
	44	三重県立津工業高等学校 機械研究部	上村 雄二	前田 晴哉	越後 翔矢	
	45	鳥取県立鳥取工業高等学校 技術研究部	山本 努	谷本 真淑	平山 隼輝	
	46	富山工業高等学校	小林 高志	吉田 悠太	中田 拓海	
	47	大阪府立布施工科高等学校	岡 雄一郎	高見 歩武		
	48	岐阜第一高等学校 課題研究EVエコラン班	近藤 英寿	牛嶋 康晃	廣瀬 勇輝	
	49	E-8 東淀	前川 雄貴	北嶋 希望	川上 翼	
	50	桑名工業高校 3年4組課題研究	三輪 一清	伊藤 隆史	水谷 拓海	
	51	金沢市立工業高等学校 オアシズT	武田 敬介	生田 祐樹	前川 稜太	
	52	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部α	垣内 和彦	山崎 蓮	山本 大輝	
	53	高知県立高知東工業高等学校自動車工作部β	垣内 和彦	刈谷 祐登	柳本 卓也	
	54	石川県立七尾東雲高等学校1	寺西 孝文	田村 もえ	能登 将輝	
	55	石川県立七尾東雲高等学校2	山田 敏寛	浦岡 寛	東 豊之	
	56	伊勢工業高校 機械部	鈴木 守	中村 僚我	満仲 建太	
	57	松工ソーラカーチーム	杉谷 直紀	石田 健登	森 准平	
	58	愛知県立刈谷工業高等学校	弟子丸 早人	寺田 拓巳	小野 耀平	
	59	愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	安藤 美穂	小山 三太		
	60	愛知県立豊橋工業高等学校	井東 佑介	中川 雄貴		
	61	大阪府立佐野工科高等学校	田畑 宏	阿南 友輝	西尾 光司	
	62	紀北工業高校 ものづくり研究部	敷下 能男	森本 理加		
	KV-1 d 中学生部門	63	信大附属長野中 技術部 Aチーム	菊池 泰弘	富永 征宏	
		64	信大附属長野中 技術部 Bチーム	菊池 泰弘	小林 駿太	
		65	三重県中学生Ene1プロジェクトwhite	藤高 洋一	川島 一斗	俣田 馨
66		三重県中学生Ene1プロジェクトzero1	吉岡 利浩	濱口 裕輝	藤岡 光輝	

2015 Ene-1GP SUZUKA

エントリーリスト KV-40チャレンジ KV-2クラス

24台 7月15日現在

参加クラス	No.	チーム名	チームマネージャー	①ドライバー	②ドライバー
KV-2 a 一般部門	71	忍者マスカルボーネ	金森 有希	金森 貴志	
	72	Team Bishamon	奥村 貴史	前川 領	
	73	東富士エコラン同好会	小川 裕之	榊原 大地	吉野 弘紹
	74	夢の車工房	廣野 智久	袴田 真	伊藤 豊大
	75	openstar with Prince	小久井 武司	高市 哲	酒井 開星
KV-2 b 大学、高専、専門学校部門	76	松本お祭り同好会	木船 計明	田多井 直美	大澤 知夏
	77	うどん高専 次世代自動車研究部	岩田 弘	山本 優人	楠 恒輝
	78	大阪産業大学新エネルギービークルPJβ	鳥居 慎也	林 洋光	
	79	長野高専つばめ	岡田 学	橋場 美央	
	80	長野高専 HELIOS	水野 開渡	上野 晃嗣	
KV-2 c 高等学校部門	81	市立関商工高等学校 2	岩佐 昌尚	太田 楓万	
	82	大阪市立都島工業高等学校 TEAM A	谷口 貴志	池崎 蒼	
	83	大阪市立都島工業高等学校 TEAM B	谷口 貴志	山本 悠人	
	84	堺市立堺高等学校 科学部	山田 喜生	寺島 大地	メンデス アンディ
	85	大阪府立堺工科高等学校 自動車部	真田 正樹	田代 瑛	青木 一輝
	86	長野県飯田OIDE長姫高校 原動機部	福澤 智之	田中 寛人	
	87	奈良朱雀高等学校 機械研究部	松村 裕次	井上 将平	上田 友博
	88	王寺工業 電気工学科 課題研究チーム	前川 宏樹	古賀 由記	坂本 大輔
	89	王寺工業 TEAM 無線	堀山 佳則	古川 和樹	中島 翔馬
	90	愛知県立三谷水産高等学校 機関部	佐々 真一	佐藤 桂香	佐藤 真弓
KV-2 d 中学生部門	91	静岡県立浜松城北工業高校 省エネ研究部	村野 寿夫	増井 啓吾	
	92	三重県中学生Ene1プロジェクトred	吉岡 利浩	三橋 一輝	丸尾 啓斗
	93	三重県中学生Ene1プロジェクトblue	瀧美 勇輝	長谷川 諒	山中 勇輝
	94	三重県中学生Ene1プロジェクトbloc	藤高 洋一	岡田 颯太	森下 温斗

エントリーリスト KV-BIKEチャレンジ

20台 7月15日現在

参加クラス	No.	チーム名	チームマネージャー	①ライダー	②ライダー
a. 一般部門	1	ミツバイク	木村 正勝	磯村 翼	
	2	世界適合	西浦 隆夫	荒井 理	人見 貴也
	3	TAKEDARacingProject	高松 武洋	吉田 晋也	橋 知志
	4	モモゾー	鵜瀬 弘継	飯田 大祐	桜庭 孝仁
	5	JO-KET	坂野 雄治	青木 光子	後藤 寛章
	6	ARPちびT-EV部	佐藤 圭太	浅井 充	
	7	EVO	上杉 恭一	山本 悠人	
b. 大学、高専、専門学校部門	16	U-No16	鵜瀬 弘継	鵜瀬 太郎	
	8	octエコラン部	高橋 史明	塩谷 直之	
	9	弓削商船高専 M5	瀨瀨 喜信	岡田 一真	
c. 高等学校部門	10	富山県立魚津工業高等学校電気工学部	越 隆典	古川 開斗	渡辺 一哉
	11	富山工業高校 D-Team	杉谷 光太郎	黒崎 伸太郎	清水 理久
	12	鳥取県立鳥取工業高等学校	山本 努	谷本 真淑	岸田 拓也
	13	愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	岩永 末雄	水元 尚輝	
d. 中学生部門	14	チーム桑名 (KPRO)	平野 博明	川井 健太郎	高橋 佳篤
	15	チーム桑名 (KV-BIKE)	平野 博明	杉野 里可子	中易 美月
	17	DISCOVERY KUMANO	大津 孝佳	若山 陽向	平嶋 大雅
	18	チーム白子中	大津 孝佳	直江 百合香	直江 愛美
	19	チーム大井	大津 孝佳	日下 歩	吉村 佑汰
	20	湘光クイーンズ	大津 孝佳	辻村 未来	小澤 花音

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/

イベント情報

パナソニック 手づくり乾電池教室／バックヤードツアー

パナソニックオリジナル手づくり乾電池キットを使って、世界でひとつ、オリジナルの乾電池づくりができます。さらに希望者は、鈴鹿サーキットの「ウラ側」を見られるバックヤードツアーにも参加いただけます。

- 申込方法 鈴鹿サーキット公式Webサイト専用フォーム、またはFAX
 - 対象 小学校3～6年生(保護者の同伴が必要です)
 - 定員 各回先着50名(計150名)
定員に空きがある場合のみ、
各回の15分前より会場にて当日受付
 - 会場 手づくり乾電池教室：
パドック内ピットビル2階ホスピタリティラウンジ
バックヤードツアー：
ビューアズルーム(管制室)、ポディウム(表彰台)など
 - 開催日時 8月2日(日) 10:00～11:20／11:20～12:40／13:20～14:40 全3回
 - 料金 無料
- ※時間の内訳は手づくり乾電池教室50分／バックヤードツアー30分です
※手づくり乾電池教室のみの参加も可能です



アーテック・ブロックロボ体験教室／バックヤードツアー

どの面にも組み付けることができるアーテック・ブロックを使い、電池で動くロボット作りを体験いただけます。また、希望者は鈴鹿サーキットの「ウラ側」を見られるバックヤードツアーにも参加いただけます。

- 申込方法 当日受付(各回の15分前から)
 - 対象 幼稚園～中学生(保護者の同伴が必要です)
 - 定員 各回先着30名(計90名)
 - 会場 アーテック・ブロックロボ体験教室：
パドック内ピットビル2階ホスピタリティラウンジ
バックヤードツアー：
ビューアズルーム(管制室)、ポディウム(表彰台)など
 - 開催日時 8月2日(日) 10:00～11:20／11:20～12:40／13:20～14:40
全3回
 - 料金 無料
- ※時間の内訳はアーテック・ブロックロボ体験教室50分／バックヤードツアー30分です
※アーテック・ブロックロボ体験教室のみの参加も可能です

